

平成29年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目	
1(12番) 中山 雄夫	1 学校支援地域本部事業の拡充について	(1) 地域住民が学校支援ボランティアとして活躍する為の体制整備について	
	2 小・中連携教育の進捗状況について	(1) 「コミュニティスクール」構想実施後の小・中連携教育の現状について	
2(9番) 西村 和子	1 筑紫野市における働き方改革について	(1) 時間外勤務が最大の部署とその一人当たりの時間、および平均時間。男女差について	
		(2) 関連して男性の育児休業取得勧奨について	
		(3) 筑紫野市としての考え方について	
	2 非正規職員の処遇改善について	(1) 非正規職員の処遇についての基本的な考え方について	
		(2) 処遇を改善していくべきではないか。	
3(11番) 平嶋 正一	1 発掘調査(記録保存)について	(1) 昭和50年以降の発掘調査と調査報告書の件数について	
		(2) 発掘調査(記録保存)で出土した遺物の整理と保管状態について	
		(3) 遺物保管状況についての認識と調査報告書について	
		(4) 発掘調査で出土した遺物の公開について	
議席番号 4(17番) 辻本 美恵子	1 介護保険総合事業について	(1) 2025年の介護保険料の予測は。	
		(2) 介護予防・日常生活支援のとりくみの考え方について	
		(3) 多様な主体によるサービスをどう作るのか。	
		(4) 地域への広げ方について	
	2 食育推進計画の進め方について	(1) 健康を支える環境整備について	
		(2) ライフステージに応じた取り組み。	
		(3) 地産地消、食文化、食の安全について	
	3 環境教育の場について	(1) 環境教育の場として、どのようなものがあるか。	
		(2) 自然環境の学習の機会はどのようなものがあるか。	
		(3) 筑紫野市の自然環境を生かせる、環境教育の場を作ってはどうか。	
	5(3番) 白石 卓也	1 市役所での窓口業務について	(1) 本市における現状
			(2) 対応職員の接遇
(3) マイナンバーカードの活用について			
2 消費者相談について		(1) 消費者相談の現状について	
		(2) 消費者被害の拡大防止について	
6(10番) 阿部 靖男	1 色覚特性についての教育・研修等について	(1) 色覚特性による採用制限等の現状把握について	
		(2) 色覚特性に関する教職員への教育・研修について	

平成29年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
7(8番) 山本 加奈子	1 市役所移転後の交通対策等について	(1) カミーリヤ巡回福祉バスは、市役所移転後に向けてコース見直しの予定はあるか。
		(2) 高齢化対策としてカミーリヤ巡回福祉バスは、全て市役所を経由するように出来ないか。
		(3) 乗車時間短縮の為、小型バスを増やせないか。
		(4) 二日市コミュニティセンターで住民票など証明書発行が出来るようにならないか。
2 健康診査について	(1) 3歳児健診以降、就学時健診までの空白を埋める為、4歳児もしくは5歳児健診ができないか。	
	(2) 乳がん検診結果の際、高濃度乳腺の告知について市の考えは。	
8(1番) 古賀 新悟	1 学校給食について	(1) 小中学校の給食費を無償化にすると予算はいくらになるのか。
		(2) 憲法26条と学校給食法を重視し、給食費は無償化にすべき。
		(3) 学校給食業務の運営の合理化ではなく、食育を重視して自校方式に戻すべき。
9(2番) 城間 広子	1 認知症で障害者手帳が取れることについて	(1) 認知症800万人時代といわれている。本市は何人くらいおられるか。今後の見通しは。
		(2) 認知症で精神障害者保健福祉手帳を持っている方は何人か。
		(3) どのような負担軽減があるか。
	2 高齢障害者の負担軽減、サービスの充実について	(1) 65歳になると障害福祉サービスより介護保険サービスが優先する「65歳の壁」について
		(2) 低所得の高齢障害者が介護保険サービスを利用する場合の減免(30年4月より実施)について
		(3) 障害福祉サービス事業所が介護保険事業所になりやすくするとは、具体的にどういうことなのか。
10(7番) 宮崎 吉弘	1 水道事業の現状と今後の見通しについて	(1) 水道施設の適切な資産管理を推進する上で欠かすことのできない水道台帳の整備の状況について
		(2) 水の安定供給のための広域連携に向けた筑紫野市の取組について
		(3) 施設更新の今後の見通しについて
	2 災害に強い街づくりについて	(1) 防災拠点の環境整備について
		(2) 自主防災組織の育成について
11(15番) 田中 允	1 市職員の市民サービスのための研修について	(1) ユニバーサルマナー検定という制度があるが検討しては如何か
		(2) 民間のすぐれたサービスを学ぶための制度の導入は如何か。
	2 小学校3年生からの英語(外国語活動)導入について	(1) 2020年度から小学校3年生から英語が正課に取り入れられるが、教員の配置等体制は大丈夫か
		(2) 他の教科等とのバランスはどのようにするのか
	3 筑紫野市の人口推計について	(1) 第五次総合計画では、平成37年から平成42年までがピークの103,000人となっているが算出根拠について